

授業科目名	授業形態	単位数	担当教員名
保育内容・人間関係	演習	1	濱田 誠二郎

記載不要

**【授業のテーマ及び到達目標】**

保育内容-人間関係のテーマは、子どもが「他の人々と親しみ、支え合って生活するために、自立心を育て、人と関わる力を養う」ことである。以下、二つの到達目標を記す。

- ①幼稚園教育要領等に示された幼稚園教育の基本をふまえ、領域「人間関係」のねらいおよび内容を理解する。
- ②子どもの育ち-発達-学びの過程を理解し、領域「人間関係」に関わる具体的な場面を想定した保育を構想する方法(情報機器及び教材の活用を含む)を身につける。

**【授業の概要】**

幼稚園教育要領、保育所保育指針に示された領域「人間関係」のねらいと内容を理解し、乳幼児期の人間関係を育むための保育実践について検討していく。また、保育の事例をもとに、子どもの人間関係がどのように発達していくのかを様々な観点から考察する。さらに、タブレットやアプリ等を活用した指導法についても検討する。

**【全体の授業計画・内容】**

1 幼児教育の目的および方法と領域「人間関係」

事前学修課題: 幼児教育関連ニュースについて自分の考えを持つ。【0.5】

事後学修課題: 配布シートを完成させる。【0.5】

2. 乳幼児期の発達と領域「人間関係」①一親や保育者との出会いと関わりー

事前学修課題: 発達について調べる。【0.5】

事後学修課題: 配布シートを完成させる。【0.5】

3. 乳幼児期の発達と領域「人間関係」②一友だちとの出会いと関わりー

事前学修課題: 前時に指示したキーワードについて調べる。【0.5】

事後学修課題: 配布シートを完成させる。【0.5】

4. 幼稚園教育における評価の考え方①一幼児期の終わりまでに育ってほしい姿ー

事前学修課題: 前時に指示したキーワードについて調べる。【0.5】

事後学修課題: 配布シートを完成させる。【0.5】

5. 幼稚園教育における評価の考え方②一小学校以降の生活や教科等とのつながりー

事前学修課題: 前時に指示したキーワードについて調べる。【0.5】

事後学修課題: 配布シートを完成させる。【0.5】

6. 保育内容=領域「人間関係」の特性と保育構想

事前学修課題: 前時に指示したキーワードについて調べる。【0.5】

事後学修課題: 配布シートを完成させる。【0.5】

7. 保育内容=領域「人間関係」の指導法①一一人ひとりの自立と自信

事前学修課題: 前時に指示したキーワードについて調べる。【0.5】

事後学修課題: 配布シートを完成させる。【0.5】

8. 保育内容=領域「人間関係」の指導法② -友だちへの関心、認め合える関係ー

事前学修課題: 前時に指示したキーワードについて調べる。【0.5】

事後学修課題: 配布シートを完成させる。【0.5】

9、保育内容=領域「人間関係」の指導法③ークラス意識、協力関係ー

事前学修課題:前時に指示したキーワードについて調べる。【0.5】

事後学修課題:配布シートを完成させる。【0.5】

10.子どもを取り巻く人間関係ー保育者同士、保護者・地域との連携ー

事前学修課題:前時に指示したキーワードについて調べる。【0.5】

事後学修課題:配布シートを完成させる。【0.5】

11.子どもの育ちを育むための情報機器の活用

事前学修課題:前時に指示したキーワードについて調べる。【0.5】

事後学修課題:配布シートを完成させる。【0.5】

12. 指導案の作成-情報機器を活用した導入に焦点をあててー

事前学修課題:前時に指示したキーワードについて調べる。【0.5】

事後学修課題:配布シートを完成させる。【0.5】

13. 模擬保育(幼児同士グループの発表と振り返り)

事前学修課題:前時に指示したキーワードについて調べる。【0.5】

事後学修課題:配布シートを完成させる。【0.5】

14. 模擬保育(幼少連携グループの発表と振り返り)

事前学修課題:前時に指示したキーワードについて調べる。【0.5】

事後学修課題:配布シートを完成させる。【0.5】

15. 試験およびまとめ

事前学修課題:前時に指示したキーワードについて調べる。【0.5】

事後学修課題:配布シートを完成させる。【0.5】

#### 【学習のあり方】

授業で学んだことをノートにまとめ整理していく。

#### 【成績評価】

試験(60%)レポート課題(20%)課題の理解と授業への取り組み姿勢(20%)

#### 【課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法】

レポートについて、別の用紙に解説、コメントを記入して配布する。

#### 【テキスト】

毎回、ワークシートを配布して授業を進める。

#### 【参考文献】

コンパクト版保育内容シリーズ2 人間関係編著:高橋弥生-福田真奈-藝社

#### 【実務経験の有無】

県内の保・幼教員研修の講師としてテーマ「幼児同士の人間関係を育む」を中心に研修会を持ち、授業に還元している。

授業科目名	授業形態	単位数	担当教員名
保育内容・人間関係	演習	1	川谷 和子

記載不要

#### 【授業のテーマ及び到達目標】

テーマ:乳幼児期における人間関係形成のプロセスを学び、保育者の役割について理解する。

- (1)乳幼児の人との関わりの発達特性を理解し、領域「人間関係」について理解を深めることができる。
- (2)子どもを取り巻く現代社会の人間関係に関心を持ち、その問題点や改善について考え、説明できる。
- (3)人と関わる力を育むための具体的な保育の内容および援助について考えることができる。

#### 【授業の概要】

「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「認定こども園教育・保育要領」に示された領域「人間関係」のねらいと内容を理解し、乳幼児期の人間関係を育むための保育実践について検討、理解する。また、保育の各事例をもとに、子どもの人間関係がどのように発達していくのかを様々な観点から考察する。

#### 【全体の授業計画・内容】

1. 領域「人間関係について」	・人との関わりの基礎となる発達課題
毎回の事前学習において、教科書を読む(概ね 40 分):第1回 教科書pp.131～132 領域「人間関係」を熟読する 毎回の事後学習において、学んだ要点/内容をまとめる(概ね 50 分):第1回 教科書pp.9～12 の内容をまとめる	
2. 子どもの育ちと大人の関わり	・幼児教育に求められる人間関係
事前学習:教科書pp.12～16 を熟読しておく / 事後学習:板書などを合わせ、要点をまとめる	
3. 子どもを取り巻く現代的課題	・生活環境、家族形態の変化と人間関係をめぐる現代的課題
事前学習:教科書pp.25～32 を熟読しておく / 事後学習:板書などを合わせ、要点をまとめる	
4. 子どもの生活と人間関係	・子どもは他者をどのように理解していくか
事前学習:教科書pp.17～24 を熟読しておく / 事後学習:板書などを合わせ、要点をまとめる	
5. 遊びと人間関係	・ものや人との関わり。遊びの広がり人間関係
事前学習:教科書pp.33～39 を熟読しておく / 事後学習:乳幼児期の遊びと人との関わりの要点をまとめる	
6. 集団生活と人間関係	・クラス集団の中で育つ人間関係と小学校以降の生活や学び
事前学習:教科書pp.41～48 を熟読しておく / 事後学習:第2節・第3節の要点をまとめる(ワークシート)	
7. 就学までに育てたい人間関係	・幼児期の終わりまでに育ってほしい姿と社会生活との関わり
事前学習:教科書pp.49～55 を熟読しておく / 事後学習:配布プリント、板書などを合わせ、要点をまとめる	
8. 0歳児～2歳児の人間関係のねらいと内容	・「身近な人と気持ちが通じあう」のねらいと内容、内容の取扱い
事前学習:教科書pp.57～64 pp.136 pp.138 を熟読しておく / 事後学習:板書などを合わせ、要点をまとめる	
9. 0歳児～2歳児の人間関係を育む保育実践	・基本的信頼関係と自我の発達、自己主張を支える保育
事前学習:教科書pp.73～80 を熟読しておく / 事後学習:事例1～事例6を通して学んだ内容をまとめる	
10. 3歳児～5歳児の人間関係のねらいと内容	・自立的生活、共同での生活を経て協働する体験へと育む
事前学習:教科書pp.65～72 を熟読しておく / 事後学習:配布プリント、板書などを合わせ、要点をまとめる	
11. 3歳児～5歳児の人間関係を育む保育実践	・自分の思いを伝える力、折り合いをつける力、考え合う力を育む
事前学習:教科書pp.81～88 を熟読しておく / 事後学習:事例1～事例3を通して学んだ内容をまとめる	
12. 家庭との連携で育む人間関係	・保護者との協働、地域との連携で子どもの育ちを支える
事前学習:教科書pp.89～96 を熟読しておく / 事後学習:第2節・第3節の要点をまとめる(ワークシート)	
13. 特別な支援が必要な子どもの保育	・子どもの行動の意味理解と人との関わりを見る視点
事前学習:教科書pp.113～120 を熟読しておく / 事後学習:第3節の要点をまとめる	

14. 指導計画作成の基本	・指導案の構造理解と情報機器を用いた指導案作成の検討
事前学習:教科書pp.121～127を熟読しておく / 事後学習:指導計画作成の基本について学んだ内容をまとめる	
15. まとめと振り返り	・生きる力を育む人間関係
事前学習:教科書pp.110～112を熟読しておく / 事後学習:人と関わる力を育むための保育者の役割をまとめる	
<b>【学習のあり方】</b>	
予習のあり方:授業計画に沿った教科書の内容および教員が指示した箇所を読んでおく。	
学習のあり方:授業で学んだことをノートにまとめ整理していく。	
復習のあり方:授業内容を復習し、学んだことを自分の言葉で説明できるようにしていく。	
<b>【成績評価】</b>	
小テスト(60%) ワークシート(20%) 課題の理解と授業への取り組み姿勢(20%)	
<b>【課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法】</b>	
小テストについては、授業の進行に沿って複数回実施し、返却時に解答に関する説明を行う。また、ワークシートについては、別の用紙に解説、コメントを記入して配布する。	
<b>【テキスト】</b>	
コンパクト版 保育内容シリーズ2 人間関係 編著:高橋弥生・福田真奈 一藝社	
<b>【参考文献】</b>	
幼稚園教育要領解説・保育所保育指針解説 フレーベル社	
<b>【実務経験の有無】</b>	
幼稚園と地域子育て支援の場における実務経験を有している。授業では、具体的な保育場面や人間関係の事例を示し、子どもや保護者との関わりにおいて必要な知見と個々の事例について考える機会を提供する。	